

- 平成31年4月より、都立（総合）精神保健福祉センターを東京都における依存症相談拠点として設定
- 令和3年度の主な取組状況等は、以下のとおり

1 相談支援

○アルコール関連相談件数の状況

（単位：件数）

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2020年	195	183	194	163	134	239	212	252	238	262	239
2021年	250	243	302	231	187	232	197	216	214	234	232

※アルコール関連…アルコール、ギャンブル等、その他アディクション

（月報（福祉・衛生行政統計）より）

○コロナ禍をきっかけとした本人・家族等からの主な相談状況（令和3年度）

- ・昨年に引き続き、生活スタイルの変化（在宅ワーク等）や職を失ったなどの理由で、飲酒量が増加したという相談が一定数、寄せられており、センターでの相談支援や他の関係機関を紹介するなどの対応を実施

No.	相談内容	対応経過
①	<ul style="list-style-type: none"> ・職場で外出を禁止されている ・毎日飲酒しており、飲まない宣言をして飲酒量の制限はできているが、先が不安 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関を紹介
②	<ul style="list-style-type: none"> ・母親のアルコール問題で相談 ・家族の自助グループにつながっていたが、コロナで休止となったため、センターの家族教室を利用したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接相談のほか、家族教室へ参加
③	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店経営していたが、コロナにより閉店し、朝から飲酒するようになった夫の相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・センターでの面接相談のほか、医療機関を紹介
④	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートワークで朝から飲むようになりやめられない ・どうすればやめられるか相談したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・面接相談、医療機関の受診、回復プログラム参加を提案
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで趣味が行えず、リモートワークが始まってから飲酒問題が顕在化 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族教室や他の相談機関を紹介

2 グループワーク

○アルコール関連のグループワークの状況

- ・外出の機会が減り、在宅時間が延長したことでの家族関係の変化や、自助グループや家族会が休止やオンライン開催となり、実際に人が集まる場を求めて参加する人などがセンターの回復プログラムや家族講座へ参加している（センターでのグループワークは継続して実施しているため、関係機関からの紹介で参加するケースもあり）
- ・回復プログラムや家族講座の実施にあたっては、コロナ禍での不調や工夫について取り上げるなど、講師や助言者等とも情報交換を行いながら取組を進めている

(単位：回数)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
2020年	16	36	14	3	4	20	18	19	17	18	17
2021年	17	10	22	19	17	22	20	22	25	19	20

※グループワーク…家族講座、回復プログラム等
アルコール関連…アルコール、ギャンブル等、その他アディクション

(月報(福祉・衛生行政統計)より)

3 研修

○依存症支援者研修事業

- ・令和3年度より、区市町村等の職員を対象に、依存症の方等に対する支援を行う人材を養成することを目的とした依存症対策総合支援事業に基づく「依存症支援者研修」を実施

◀ 依存症相談対応研修 ▶

- ・相談支援経験のある関係機関職員を対象にスキルアップを目的として実施

【令和3年度開催実績】

- ◆ 「アルコール依存症について理解し支援に活かす」(令和3年7月開催)
- ◆ 受講者数：28名

◀ 地域生活支援研修 ▶

- ・依存症に関する基本的な概要や支援に関する知識の伝達を目的として実施

【令和3年度開催実績】

- ◆ 「アルコール依存症の理解と対応」(令和3年11月オンライン開催)
- ◆ 受講者数：276名

※上記のほか、従来から実施しているテーマ別の研修も実施

4 普及啓発

○依存症対策普及啓発フォーラム

- ・ 依存症に関する正しい知識等に関する情報発信等を行うため、都民の方等を対象とした「依存症対策普及啓発フォーラム」を実施
- ・ アルコールのほか、薬物やギャンブル等依存症も含めたテーマで依存症に関する情報を発信
(令和3年度は会場とオンラインの併用で開催)

≪ 令和3年度の実施内容 ≫ (参加者：345名)

【基調講演テーマ】

- ◆ ギャンブル障害回復支援プログラム C-GAP
(東京都立中部総合精神保健福祉センター副所長/高知大学客員教授 菅原 誠)
- ◆ アルコール依存症とSBI RTS
(医療法人社団翠会成増厚生病院副院長/東京アルコール医療総合センター センター長 垣渕 洋一)

【トークセッション】

- ◆ 依存症からの回復に大切なもの
(特定非営利活動法人八王子ダルク施設長 加藤 隆)
(特定非営利活動法人ジャパンマック みのわマック施設長 成宮 康彦)
(一般社団法人グレイスロード東京センター センター長 服部 善行)

など

5 連携会議

- ・ 医療関係者や行政機関、民間団体等で構成する地域の連携会議を都立（総合）精神保健福祉センターで実施し、関係機関の連携強化を図る

- ◆ 中部総合精神保健福祉センター：令和4年2月15日開催（オンライン開催）
- ◆ 多摩総合精神保健福祉センター：令和3年12月22日開催
- ◆ 都立精神保健福祉センター：令和3年11月29日開催

引き続き、依存症相談拠点における支援の充実に向けて、取組を検討・実施していく